

平成21年10月と11月に実施した「ノーマイカーデー社会実験」の結果について

～2日間で74事業所、延べ3,767人の方に登録していただき、多様な効果が得られました～

秋田市では7割以上の方がマイカーで通勤されており、朝は、国道7号や13号を中心に、まちなかで渋滞箇所が多くみられます。そこで、交通渋滞緩和による都市環境改善を目的に、10月23日（金）と11月11日（水）の両日「ノーマイカーデー」と「早起き時差通勤」の社会実験を実施しました。多くの皆様の協力で、2日間で74事業所、延べ3,767人の方に登録いただきました。ご協力ありがとうございました。

実験内容 渋滞緩和による環境改善を目指して、社会実験を行いました

ノーマイカーデー

- 自動車通勤者の多様な代替交通手段に対応した対策として実施

マイカー通勤による渋滞
相乗り
自転車
徒歩
山手
自転車
徒歩

自家用車から通勤手段をシフト

早起き時差通勤

- ノーマイカーデーに参加できない通勤者を対象とする渋滞対策として実施

30分程度早出

実験実施日

第1回
10月23日（金）

第2回
11月11日（水）

関係機関と連携した取組み

- 秋田駅を經由しない山王方面行きの路線バスの増便
(増便：秋田中央交通(株))

増便した路線バス

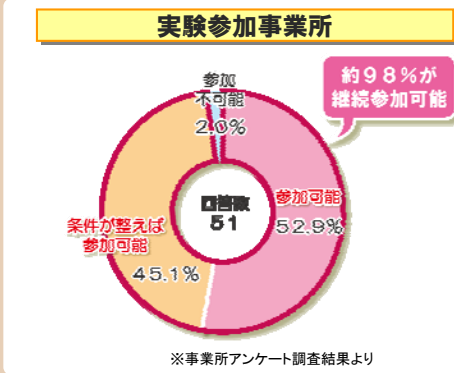
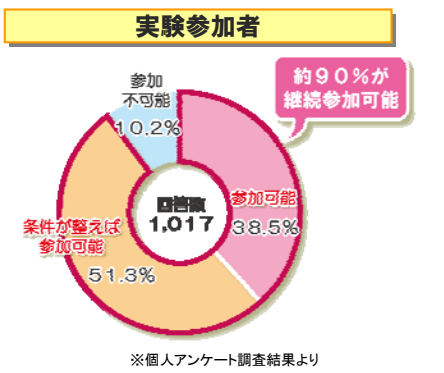
- 自転車通勤応援イベント「Bike To Work」との連携
⇒自転車通勤者へお菓子や飲み物を提供
(主催：NPO(Bicycle Ecology Japan))

Bike to Work (保戸野ステーション)

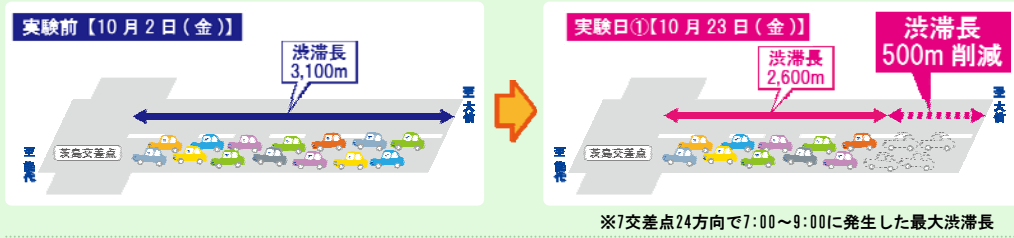
参加状況 2日間で74事業所、延べ3,767人の方に登録いただきました

実験実施日	ノーマイカーデー参加登録者数	早起き時差通勤参加登録者数	合計
平成21年10月23日（金）(1回目)	1,201人	685人	1,886人
平成21年11月11日（水）(2回目)	1,136人	745人	1,881人

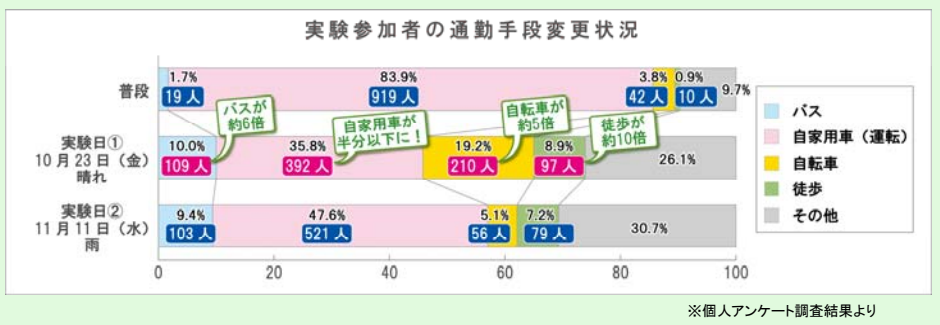
継続参加意向 多くの方より継続的な参加意向をいただきました



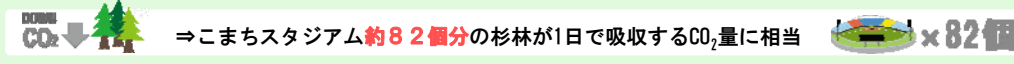
効果1 実験により、国道13号、7号の7交差点で渋滞が1.65km*減少しました。



効果2 路線バスや自転車の利用者が大幅に増加しました



効果3 ノーマイカー通勤に伴い、CO₂排出量は4,551kg-CO₂削減しました



効果4 実験に参加された方は、様々なメリットを感じています

ノーマイカーデーに参加した人が感じたメリット

- 1位：地球環境温暖化対策に協力できた (48.4%)
- 2位：ガソリン代が節約できた (38.9%)
- 3位：秋田市の渋滞緩和に協力できた (28.8%)

早起き時差通勤に参加した人が感じたメリット

- 1位：通勤時間が短くなった (38.1%)
- 2位：秋田市の渋滞緩和に協力できた (34.4%)
- 3位：渋滞を避けて快適に通勤でき、イライラ等のストレスが減った (28.1%)

※個人アンケート調査結果より

自由意見 皆様から、様々な貴重なご意見をいただきました

- 公共交通の充実を図り、利便性を向上させることが必要だと思う
- 社会的には必要と思うが、どうしても業務上車が必要
- 市民にもっとPRすべきだと思う
- 地球温暖化対策や渋滞緩和のために必要
- ドア to ドアに慣れすぎており、足で歩く大事さを知る必要があると思う
- 継続は努力が要るが、大切なことだと思う

主催：秋田市総合交通戦略推進協議会（国土交通省秋田河川国道事務所、国土交通省秋田運輸支局、秋田臨港警察署、秋田中央警察署、秋田東警察署、秋田県、秋田市、秋田商工会議所、(社)秋田県バス協会、秋田中央交通(株)、東日本旅客鉄道(株)、秋田県ハイヤー協会）